our work

防府市新庁舎（庁舎棟・福祉棟）建設工事

外観　南面

建物の全体構成は９階建ての庁舎本館と２階建ての福祉棟からなる。建物内には社会福祉協議会、文化センターを有し、県の防府総合庁舎機能（防府土木建築・山口農林水産・防府保健所）も入居する複合施設でもある。

律令国家時代に設置された国府からの長い歴史を持つ防府市にあって天満宮、毛利邸、周防国分寺など歴史ある建造物が多く存在することから、歴史的な建築の形態要素を新庁舎のデザインに取り入れ、勾配大屋根や下見貼りのようなヒダ（給排気換気利用）外壁として防府のアイデンティティを表現した。既存庁舎跡地は来庁者用駐車場として整備し、既存の議会棟は継続使用され、ブリッジにて本館庁舎と接続する。

免震構造や執務室の無天井化、発電機による７日間の電力供給、汚水貯留槽設置、佐波川の氾濫対策などの防災拠点機能を備えると共に、高断熱化、高効率空調システム、センサー調光、自然換気、太陽熱利用、メンテナンス性の向上など、様々な省エネ手法を駆使しながらZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）oriented相当（40％の一次エネルギー消費量削減）を達成している。

【建物概要】

所 在 地　山口県防府市寿町 1552 番１ほか
設計監理　久米設計・巽設計・和共同企業体
施　　工　[建築工事]
㈱熊谷組・藤本工業㈱・澤田建設㈱
・山陽建設工業㈱共同企業体
[電気設備工事]
中電工・大海電機・日生電機共同企業体
[機械設備工事]
九電工・三起設備総業・ながと設備共同企業体
工　　期　2022 年２月 28 日から 2024 年 10 月 31 日
用　　途　事務所(庁舎)・集会場・日用品販売店
構造規模　S 造（基礎免震構造）/地上９階・ S 造/地上２階
建築面積　3,966㎡（本館・福祉棟）
延べ面積　19,777㎡（本館・福祉棟）

外観　東面

設計監理
(株)久米設計
https://kumesekkei.co.jp

(株)巽設計コンサルタント
https://tatsumisekkei.com/

(有)和建築設計事務所
https://kazujimu.com/

見通しよく利用しやすい市民窓口　1 階

2 階

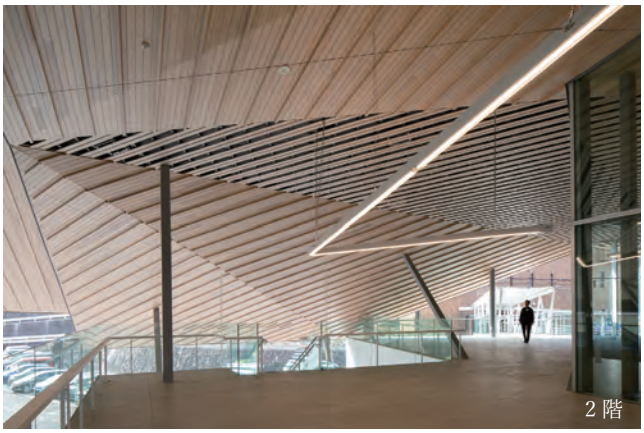
低層階（1〜3 階）市民窓口は、吹抜空間に平行配置することで、各階への視認性を高め、わかりやすく利用者を誘導する。大屋根により直射光を遮りながらも明るく開放性のある待合ロビー空間としている。宙に浮かぶ長いライン照明（光線・光跡）の形に、防府市の悠久の長い歴史と成立ちと希望ある未来の意味を込めた。

防府の街をアピールする 8 階展望回廊

市民に開放される 8 階多目的大会議室

防府天満宮から瀬戸内海に浮かぶ向島まで東西南北 360 度市内を眺望できる周回通路を設置。展示ギャラリー回廊としても活用される。

災害時に機能を発揮する半屋外デッキ空間　1 階


2 階

庁舎本館、福祉棟、議会棟（既存）、立体駐車場棟（将来工事）をつなぐ移動動線の中心。建物側のサッシを開放し、一体的なイベントスペースとしても活用することができる。また、大きな屋根のある半屋外空間は、災害時には、市民用臨時窓口設置、ボランティアスタッフ待機、救援物資や資材仮置き場など多岐の活用を想定する。

福祉棟 1 階　多目的利用スペース

福祉棟 2 階　社会福祉協議会　多目的ラウンジ

天井には県産材の杉を利用し、印象的な形態とすることで、防府の豊かな自然や文化的な価値を市庁舎に反映させたいという思いを込めた。用途を限定しないスペースの活用は市民にゆだねる。建具を開放することで野外スペースと一体的な利用も可能。災害時の避難所にもなる。